

日刊 磐城時報

編輯兼發行人 岡田弘成
印刷所 加納活版所
發行所 磐城時報社
一、部金貳圓、一月金十圓、三月金廿五圓、半年金五十圓、一年金九十圓、廣告料、行字、請金、五十圓、以上、日刊、(日曜、祭日)休刊

平驛待合室の トランク犯人逮捕

東京日本橋の商人 平署最近の大手柄

去る六日午後一時半頃平驛待合部長自ら赴き犯人を自撃した。室で午後一時五十分發の下りいふ生徒について人相その他を列車を待合せ中の東京市日本橋調へ急々本格的な搜索を開始し、三丁目三號種商問屋丹平商會だ。調査した處湯本町旅館備中、外交員小山政一(一九)は平驛筋屋敷事島崎三五郎方に四日から五向ひの菓子屋まで行つて来るうりにかけて投宿し宿料七圓餘を現金二百七十餘圓及び水戸市踏倒して逃走した東京市下谷區加納商店振出しの東京川崎第百八番地加納商店事加銀行拂渡の二百圓の小切手を入納庄司(一九)に目星をつけ行衛れてある小型カバンが紛失したを捜した處靴が紛失した六日は事件は平署で直ちに各方面に非平町田町小野新旅館事渡邊ワヤ常線も張り水も洩らさぬ警戒を方に泊り、七日朝衣類を小野新なしたが、靴を持ち去つたといふ方の單衣に着替へて出かけた事ふ男を目撃した平商業學校生徒が判つたので刑事が手分けをしが列車發車間際であつたため乗て平町を捜してゐるうち古鍛冶車後であり、人相着衣等を確か町地内で發見七日後六時平署ある事が出来なかつたため六日に引致取調つた處遂に九日午前中には搜索に困難を來し、七日十時に至り大金在中の靴を窃取朝警中及び平商業校に安藤刑事した事を自白したものである。

後から来た自動車を 乗越せよの罪

運轉手科料五圓

自動車取締規則により同一方面十一日から二日間三班に分れ中走る自動車は貨物自動車は乗通り及相馬地方の各校を視察す合車に、乗合は貸切に、自家用。車に先を譲らねばならぬ事になつてゐるにも拘はらず平町字南町古川重太郎方運轉手山形縣東村山郡鈴川村生太田彌太郎(平町二丁目坂田藤助、大工町多田井坂田氏赤十字に寄附)田井笑次郎兩氏は赤十字社に二百圓を寄附したので特別社員に推薦される事になつた。

多田井坂田氏 赤十字に寄附

平町二丁目坂田藤助、大工町多田井笑次郎兩氏は赤十字社に二百圓を寄附したので特別社員に推薦される事になつた。

縣道工事の 人夫募集

福島、猪苗代縣道改修工事は近く着工の筈であつたが人夫が不足したので平町役場を通じて昭和七年春脚氣に罹つたので平瀬警察署に搜索方を依頼した處時平驛前を泥酔して徘徊中平町で治療したがその間養母ミサ子供達の真心が通じてか去る四署に檢束された。

母戀しの真心通じ 十七年目で親子對面

紀の國家一家の喜び

險の母そのまゝの物語り

十七年目で生母に會ふ事が出さるの至れり盡せりの手厚い看來たといふ險の母そのまゝの護で回復し、平町三丁目五六六立屋平澤竹太郎氏方に雇はれてゐるが、唯一人の母として慕つてゐるミサさんは子宮瘻のため水口さんは今から十七年前郷里本年春死亡してしまつた。幼に奈良縣磯城郡初瀬町で妻ヨシ子として顔も覚えぬうち生母に別れ

謹告

一般の便宜を計るため今後左の事項を御申越次第無料で掲載する事にしました。御利用を願ひます。尚ほ本紙は創刊二十週年に達しましたので有意義な事業を計劃中です。

貸家案内

一般求人求職(女中、看護婦、女給) 店員、其他募集事項) 磐城時報社

福岡で捕はる

海水浴場荒し

相馬郡石神村生れ住所不定窃盜前科二犯齋藤元藏(二五)は去る八月二十三日四倉海岸脱衣場大平館方で平町字杉平岩島トモ子所有の現金十餘圓在中の財布を窃取したので四倉署で搜索中であつたが七日福岡縣戸畑警察署に捕えられた旨通知があつた。

營林署員慰安

富岡營林署長藤井信之氏以下署員五名は八日午後四倉町に來り海氣館に投宿慰安會を開いた。

泥酔檢束

平町柳町九

平商業生三名の 首實檢効を奏す

最初は犯行を頑強に否認

嫌疑者加納庄司(一九)は平署に害者証と成るべき物が何もな於て嚴重な取調をうけたが存いので八日正午犯人を目撃したせぬ一点張りであるため小野新といふ平商業學校生徒四倉町鈴旅館に至り所持品を調べたが被木惣六(四年)同飯士井民夫(四

學務委員視察

双葉郡久瀨町大久村の組合小學六、七名の土工募集方を依頼し

て來た、日給九十五錢である。

日初瀬署長から尋ねる婦人は大正十一年七月奈良縣磯城郡丹波市町字新町退職警察官田村音次郎と結婚し現在同所に壯健で暮してゐる。

旨の通知に接したので直ちに詳細の書面を送ると、先方からも一日も忘れた事のない子供達といふ返事が來たので今日日中先方と打合せ十七年目の嬉しい親子對面が出来る事になつた

福島炭礦
共濟委員會
赤井村福島炭礦では八月共濟組合役員を選挙した結果左の如く決定した。

轢死者の 余罪發覺

十二月二日四倉驛前すゞめ屋旅館事務地伊之太郎方に投宿四日、まで滞在十二圓四錢の飲食代を踏倒して逃走した犯人は四倉署で手配捜索中であつたが右は去月十五日午後七時頃平町松ヶ岡公園附近で鐵道自殺を遂げた平町久保町三七鈴木百三郎の所爲と判明手配を解除した。

打ちあけ話

カフエーは時代の要求で今や寵兒の觀がある。が僕に言はせると、やがてスタル時期が来るといふと業者の生活を脅かす様だが、營業の方針を變へねば成らぬ時が来ると言ふのである。現在でも缺點を曝露してゐる夏は蚊に攻められ風通しが悪いし、冬は寒くて弱い男ならセンキガ起る。するとカフエーを飯ビツにしている女給は黄いろい聲で言ふであらう。その爲に日本間も用意して有るぢや有りませんか。而し三疊や六疊の一間位で日本男子が満足できようか。其んなら始めから綺麗で廣間のある料理屋へ行く。だから東京の流行に従へと言ひ度い。田舎は都に從ふものである。今や日本のカフエー界は外國の例に習はうとしてアセツテゐる。而し裸か文化の粹を其のまゝ持つて來られない、そこに惱みがある。フランスあたりでは地下室にブローズなしのハダカ女給も居るし、キャバレーと云つてカフエーに舞臺を設け妙なダンスを踊らせつゝビールや酒を飲む仕組が流行つてゐるといふ。横濱でも始めた人があつた。横濱でも始めた人があつた。横濱でも始めた人があつた。横濱でも始めた人があつた。

平町人事

式よりも大衆的に安價に豪華に遊ぶと言ふのが次の時代の形式らしい。
出生 平町三丁目高木ツマ長男福太郎
結婚 東京市江戶川區平井三丁目武尾小三郎(三〇)紺屋町十九林シゲ(二五)
死亡 平町田中一山口雅雄(三〇)
四倉出生死亡 四倉町役場調査による八月中の出生は男九、女五、計十四、死亡は男九、女四、計十三、婚姻五組である

國貨家案内

十五丁目二十三夜尊入口 勤人向新家、外二軒 (家主 南町 織田齒科醫院)
求人 女中 平町新町山田麻袋工場二十歳前後月給六圓前後
田町大塚運動具店十四五歳五圓前後
六間門會根健次郎十四五歳位委細面談
給仕 五丁目警建建物會社月五圓
小商店 二丁目北海屋女十二三歳位
播磨小路大角茶店十三歳位

求職

外交員 新川町三三鈴木六郎(三三)
女中 材木町十五關根ヤホ(四七)
子守 同關根アサ(十二)

見習徒弟募集

右希望者は御來談を乞ふ
加納活版所

加納活版所

コンポーク
鹽豚
平町田町
三三三三屋
電話三三三三番

大藏省允許
無盡
永山酒造

二葉印刷所
平町仲町・電話一九三番

ユニオンビール王冠引取
ユニオン王冠 一ケ 貳錢
右買受期間が迫りました
御忘れなく御持越願ひます。
永山酒造
電話二〇七番

平町田町(電話五一三番)
高久病院
醫學士 高久 忠
新潟醫學士 赤羽 清
藥劑士 佐竹 菊雄
内科小兒科 外科花柳病科
耳鼻咽喉科 レントゲン科

内科 小兒科 (入院應需)
花柳病科
藤沼醫院
平町紺屋町
電話平園五〇七番

父易興 儀豫て病氣の處養生不相叶
六日午後十時四十五分永眠致候間御通知に代へ此段謹告仕候
追つて葬儀は來る十日午後二時出棺良善寺に於て佛式相營み可申尙遺志により供花放鳥等御辭退申上候
九月七日
平町四丁目
嗣子 百澤才八郎
親戚總代 加藤丈夫

弊社長百澤易興儀豫て病氣中の處
藥石効無く五日午後十時四十五分
永眠致候間此段謹告候也
九月七日
平町四丁目
株式 百澤商店
會社

謹啓母磯子儀豫て病氣の處療養不相叶九月七日午後一時逝去仕候に付乍畧儀紙上を以て御通知に代へ此段謹告仕候
追つて來る十一日午前九時より正午まで紺屋町自宅に於て神式を以て告別式執行途中葬列を廢し午後二時良善寺墓所に埋葬可仕候
九月八日
男 山部正勇
山崎與三郎
外親 戚 一同